

情報かわら版

川崎市立
宮崎台小学校

児童の情報活用能力の育成と教員の ICT 授業活用に向けて

2024.12.04

児童の情報活用能力の育成と教員の ICT 授業活用に向けて

川崎市立小学校情報教育研究会
会長 宮崎台小学校 平井 弥三郎
平成24年12月 No. 2
発行 下平間小学校 中田 優香
住吉小学校 池田 ふみ子
平間小学校 宮崎 誠

授業研の様子をご紹介します

7月6日に行われた第1回の授業研究では、ICT 機器と図書資料の活用を授業の柱とした研究・協議を行いました。第2回は児童の情報活用能力に焦点を当てて授業を行いました。授業の準備を進める段階で北部チーム・中部チーム・南部チームの3チームに分かれて協議をし、それぞれプレゼンコンペで授業を提案しました。11月21日に真福寺小で行われた第2回の授業研究 1年(武川級) 国語「じどう車ずかんをくろう」は、コンペでの投票によって選ばれた北部チーム提案をもとに検討されました。今回のかかわら版では実際の授業の様子をご紹介します。今後の授業実践にご活用ください。

情報活用 「ビッグバン」 1年 国語科 「じどう車ずかんを くろう」

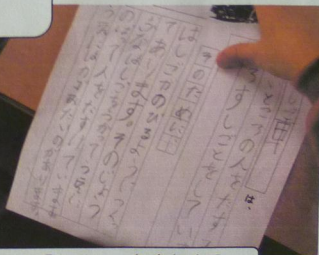
情報活用能力育成の入り口である1年生。担任が用意した手作りの映像を食い入るようにつめながら、たくさんの情報を読み取って発言していました。目的や実態に合わせて作る自作の良さが発揮されました。

子どもたちが映像から得た情報を意図的に板書することで、考えをまとめる手助けをしました。子どもたちは意図的にワークシートに「しごと」と「つくり」をまとめていました。

自作映像を使い、子どもの意欲を引き出しながら、「しごと」と「つくり」情報を読み取らせる。



子どもたちが読み取った情報を板書にまとめる。はじめの映像から読み取りにくいところは図やカードを使って補足する。



板書された情報をもとにして「しごと」と「つくり」をまとめる。

今回授業で使用した自作映像は、宮前消防署の全面協力のもと制作されました。本務のお忙しい中ご協力いただき、本当にありがとうございました。